

金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町

石川中央都市圏における 連携中枢都市圏の形成について



日時:平成28年5月24日(火)

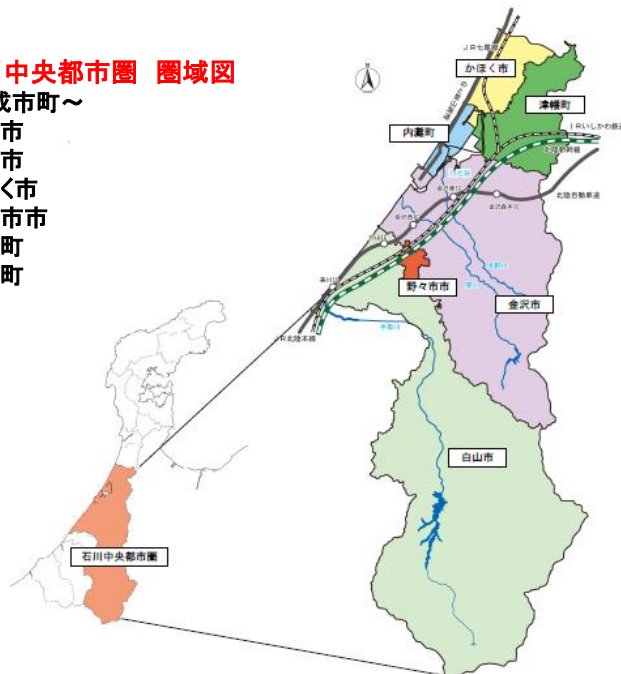
場所:教育プラザ富樫

1

○石川中央都市圏 圏域図

～構成市町～

- ・金沢市
- ・白山市
- ・かほく市
- ・野々市市
- ・津幡町
- ・内灘町



1-1

1. 連携中枢都市圏構想について

2

課 題

- ・ 今後急速に進む人口減少社会においても
全国の市町村が地方自治体として
持続可能な形で行政サービスを提供していくためには、
近隣市町村との有機的な連携による活性化が必要。

3

連携中枢都市圏の意義とは

- ・相当の規模と中核性を備える圏域において
市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、
人口減少・少子高齢化社会においても、
一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を
維持するための拠点を形成する。



4

連携中枢都市圏に求められるもの

① 圏域全体の経済成長のけん引

産学金官の共同研究・新製品開発支援、六次産業化支援等

② 高次の都市機能の集積・強化

高度な医療体制の充実、高等教育・研究開発の環境整備 等

③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

地域医療の充実、地域公共交通ネットワークの形成 等

5

連携中枢都市圏形成に向けた手続き



6

2. 石川中央都市圏におけるこれまでの経緯

7

石川中央都市圏におけるこれまでの経緯

[平成27年度]

6月 2日 ・総務省「新たな広域連携促進事業」に採択

7月20日 ・第1回石川中央都市圏首長会議の開催



8、11、2月 ・第1～3回石川中央都市圏ビジョン懇談会

8

石川中央都市圏におけるこれまでの経緯

[平成27年度]

12月 4日 ・金沢市:連携中枢都市圏宣言

3月10日～24日 ・連携協約議案を各市町議会議決

3月28日 ・石川中央都市圏連携協約締結式
(石川中央都市圏ビジョン策定・公表)



9

全国の形成状況

現在まで: 14都市圏形成

[平成26年度] 4都市圏形成

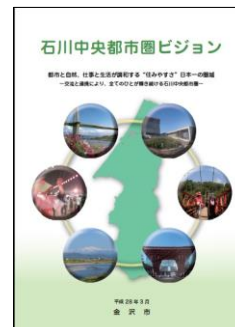
福山市、倉敷市、姫路市、宮崎市

[平成27年度] 10都市圏形成

久留米市、盛岡市、**金沢市**、長野市、下関市、
大分市、高松市、熊本市、広島市、北九州市

10

3. 石川中央都市圏ビジョンについて



11

I 石川中央都市圏における広域連携について

1. 策定の趣旨

- ・石川中央都市圏において、これまで進めてきた連携をさらに強化し、圏域の強みである住みやすさに磨きをかけることで、人口減少・少子高齢社会にあっても、活力ある地域経済を維持するとともに、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域の形成を目指す。

12

方向性（連携協約における取組）

圏域全体の経済成長のけん引

1. 産学官民一体となった経済成長の推進
2. 新規創業の促進及び地域産業の振興
3. 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
4. 戦略的な観光施策の推進

高次の都市機能の集積・強化

1. 高度な医療・救急サービスの提供
2. 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
3. 高等教育・研究開発の環境整備

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

1. 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
2. 教育・文化・スポーツの振興
3. 広域的な土地利用・地域振興
4. 災害対策
5. 環境対策
6. 地域公共交通の充実
7. 道路・ICT等社会インフラの整備
8. 地産地消の推進
9. 地域内外の住民との交流・移住促進
10. 人材の育成とネットワーク構築

13

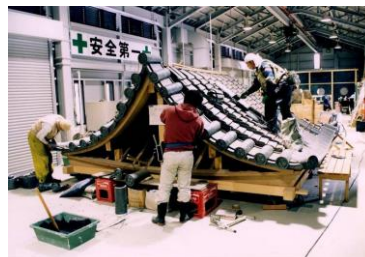
連携協約に基づき推進する主な具体的な取組

14

圏域全体の経済成長のけん引

○伝統産業の振興

- ・ 圏域における伝統産業の振興等に向けて、
金沢職人大学校における研修生の広域受入などの
取り組みを推進する。



金沢職人大学校

15

圏域全体の経済成長のけん引

○地場産品の生産・販路・消費拡大

- ・各種マーケティングやプロモーションなどを連携して行い、**地域農産物等のブランド化**を推進する。



丸いも



かぼつくり



キウイフルーツワイン



まこもたけ



ミルク

16

圏域全体の経済成長のけん引

○滞在型観光の推進

- ・圏域における**周遊観光ルートの作成**や**共同誘客キャンペーン**などを連携により実施して、
交流人口の増加に取り組む。



手取峡谷(白山市)



森林公園(津幡町)



喜多記念館(野々市市)



サンセットブリッジ内灘(内灘町)



うみっこらんど七塚(かほく市)

高次の都市機能の集積・強化

○広域的公共交通網の構築

- ・新しい交通システムの導入等を見据えて、
コミュニティバスの相互乗り入れなど
広域的公共交通網の構築に取り組む。



新しい交通システム:イメージ



コミュニティバスの連携

高次の都市機能の集積・強化

○国際会議機能の強化

- ・国際会議などの誘致・開催に向けて、
施設等の機能強化を図るとともに、
国際交流イベントの共同開催や
専門人材の相互派遣などを推進する。



圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○小児科初期救急の広域連携

及び急病センター（仮称）の整備

- ・ 現在大手町にある夜間急病診療所を
金沢市駅西福祉健康センター（西念3丁目内に
移転整備し、小児科の広域運営を行う。



金沢市駅西福祉健康センター

20

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○消防通信指令事務の共同運用

- ・ 広域的な消防・救急体制を強化するため、
消防通信指令事務の共同運用を実施すると
ともに、高機能化を推進する。

（金沢市、かほく市、津幡町、内灘町）

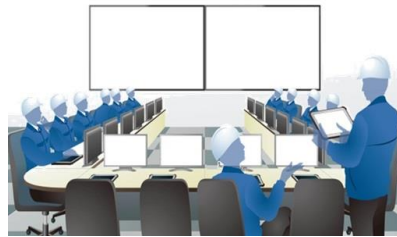


21

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○災害対策

- ・ 災害時相互応援協定に基づく応援体制を整備するとともに、**圏域の「防災連絡会議」を設置し、中長期的な連携施策を検討**していく。



22

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○地域公共交通の充実

- ・ **地域鉄道など公共交通の利用促進**に連携して取り組むとともに、**パーク・アンド・ライドの充実**など、地域公共交通の充実に努める。



北陸鉄道石川線

23

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○上下水道事業における広域連携の研究

- ・ 本格的な人口減少社会に向けて、公営企業の
上下水道事業の広域による研究会を設置して、
事業基盤の強化や業務の共同化等を検討する。



24

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○移住促進

- ・ 定住促進パンフレットの作成や
首都圏への共同プロモーション等を通じて、
圏域の住みやすさを広く発信することで、
U J I ターンを促進し、定住人口の増加を目指す。



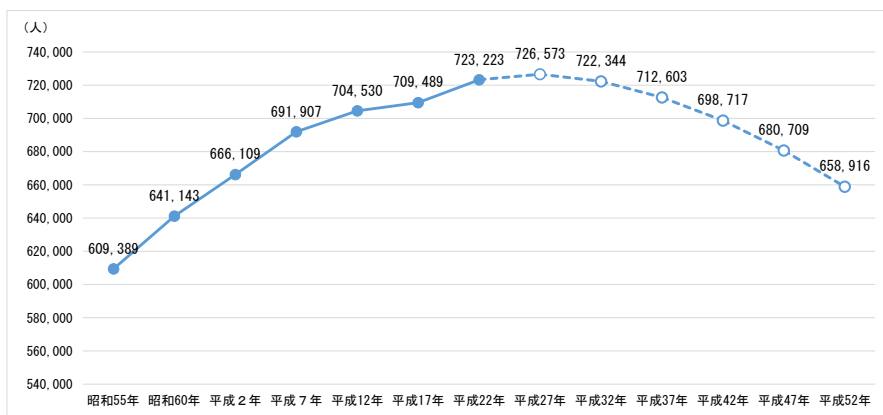
25

石川中央都市圏の将来像について

26

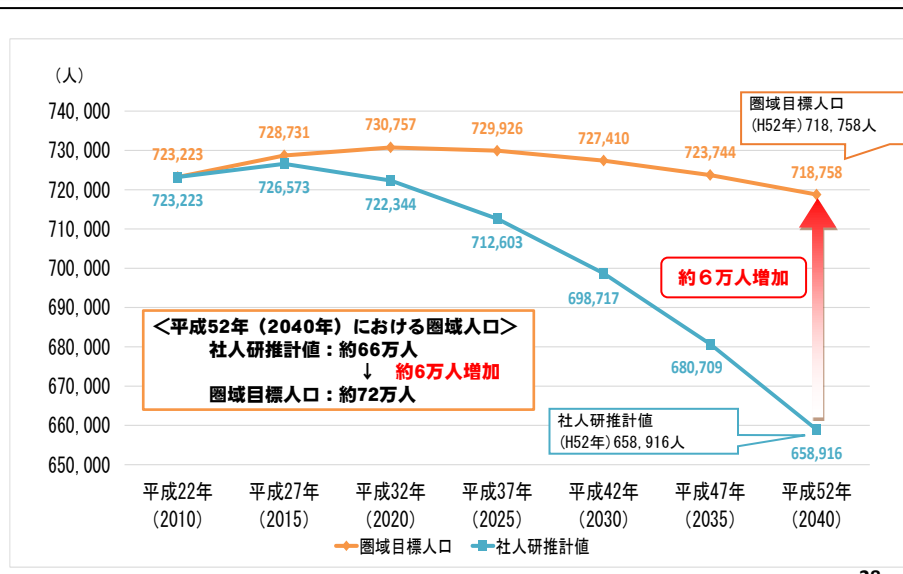
連携中枢都市圏の中長期的な将来像 1. 人口動態について

圏域の総人口の推移と将来推計人口



※各年次国勢調査より
白山市、かほく市の市町村合併以前の数値は、旧市町の合算値
※将来の推計値は、国立社会保障・人口問題研究所発表資料（平成25年3月）

連携中枢都市圏の中長期的な将来像 2. 将来の人口目標について



28

連携中枢都市圏の中長期的な将来像 3. 目指すべき将来像について

将来像

都市と自然、仕事と生活が調和する“住みやすさ”日本一の圏域
～ 交流と連携により、全てのひとが輝き続ける石川中央都市圏 ～

29

